

2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

2018年11月



証券コード: 9060

URL:<http://www.logitem.co.jp>



1. 2019年3月期 第2四半期決算の実績
2. 2019年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み



- 1. 2019年3月期 第2四半期決算の実績**
2. 2019年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み



2019年3月期 第2四半期決算のポイント

**〈決算結果〉 営業収益は9.3%の増収、営業利益は損失となるも、
経常利益は黒字に転換（前年同期比）**

【増収要因】

前期に開設した拠点を中心に通販関連の得意先との取引が拡大

【減益要因】（営業利益）

販売費及び一般管理費が増加

【増益要因】（経常利益）

持分法適用の国内関連会社の業績が好調に推移し投資利益が増加

〈国内〉 通販関連を中心に3PL事業が拡大

1. 前期に開設した拠点を中心に通販関連の得意先との取引が拡大
2. 新設した厚木西センターの安定稼働に注力
3. 前期に取引を開始した得意先の取り扱いが増加し、センター事業およびアセット事業が拡大

〈海外〉 ベトナム、組織再編を実施

1. ベトナムでの物流事業、旅客事業において、今後の事業展開を見据え組織再編を実施
2. バンコク駐在員事務所を中心に国際陸上輸送網の構築に向けた取り組みを推進



2019年3月期 第2四半期決算の概要

売上、利益ともに期初の予想を上回り進捗

(単位:百万円)

	実績				業績予想 (18年5月14日発表)	
	18/3期上期	19/3期上期	増減額	増減率	19/3期上期	増減額
営業収益	21,934	23,966	+2,031	9.3%	23,500	+466
営業利益 (同利益率)	0.7 (0.0%)	△17 (－)	-18	－	△150 (－)	+132
経常利益 (同利益率)	△6 (－)	17 (0.1%)	+23	－	△180 (－)	+197
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	△48 (－)	△49 (－)	-0.8	－	△120 (－)	+70
主要為替レート(TTM) VND(ベトナムドン)	1VND=0.00494円 (1円=202VND)	1VND=0.00476円 (1円=210VND)	-0.00018円	-3.6%	1VND=0.00493円 (1円=203VND)	-0.00017円



事業の種類別セグメント業績

センター事業およびアセット事業が拡大

セグメント別業績

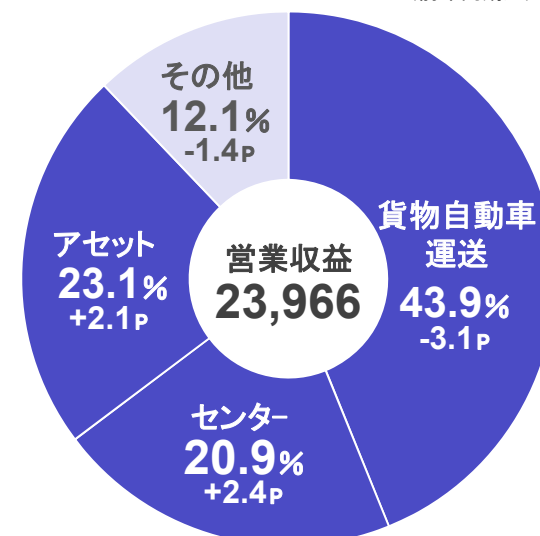
上段: 営業収益
下段: セグメント利益

(単位: 百万円)

構成比

※Pはシェアの増減ポイント
(前年同期比)

	18/3期上期	18/3期上期	増減額	増減率
貨物自動車運送事業	10,304 561	10,512 601	+208 +39	2.0% 7.1%
センター事業	4,053 148	5,000 25	+947 -122	23.4% -82.7%
アセット事業	4,610 303	5,547 482	+936 +179	20.3% 59.2%
その他事業	2,966 336	2,905 291	-61 -44	-2.1% -13.1%



貨物自動車運送事業

トラック等を使用して商品を運送する事業

- ・新たな配送エリアを受託するなど食品関連の輸送量が増加
[日本ロジテム]
- ・得意先との料金改定により収支が改善
[国内各社]

センター事業

商品の入出庫等の荷役などを行う事業

- ・通販関連等の取り扱いが増加
[日本ロジテム]
- ・新規業務の安定化に作業人員を増強して対応
[日本ロジテム][阪神ロジテム]
[ロジテムインターナショナル]
- ・人件費が増加
[国内外各社]

アセット事業

商品の倉庫保管、不動産賃貸借を行う事業

- ・前期開設の拠点を中心に通販関連の得意先の保管面積が拡大
[日本ロジテム]

その他事業

引越、施工、通関、旅客運送などを行う事業

- ・建設関連事業において大口物件の取り扱いが減少
[ロジテムエンジニアリング]
- ・引越移転事業が低調に推移
[日本ロジテム]



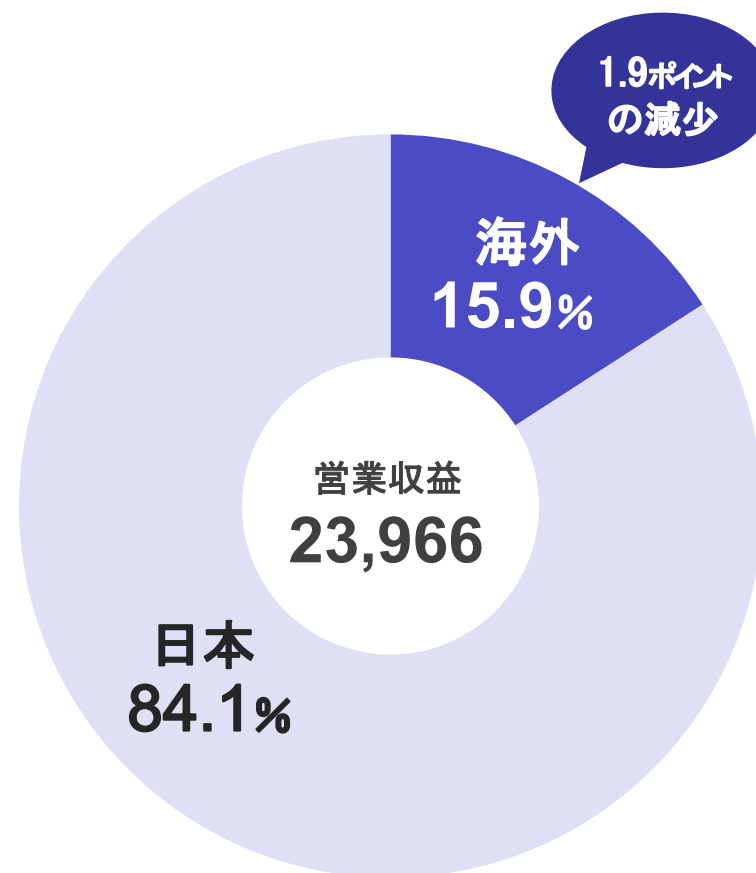
所在地別の営業収益

国内は11.8%の増収、海外は2.7%の減収

所在地別売上



売上構成比



(海外: 中華圏、タイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)



ベトナムグループの業績

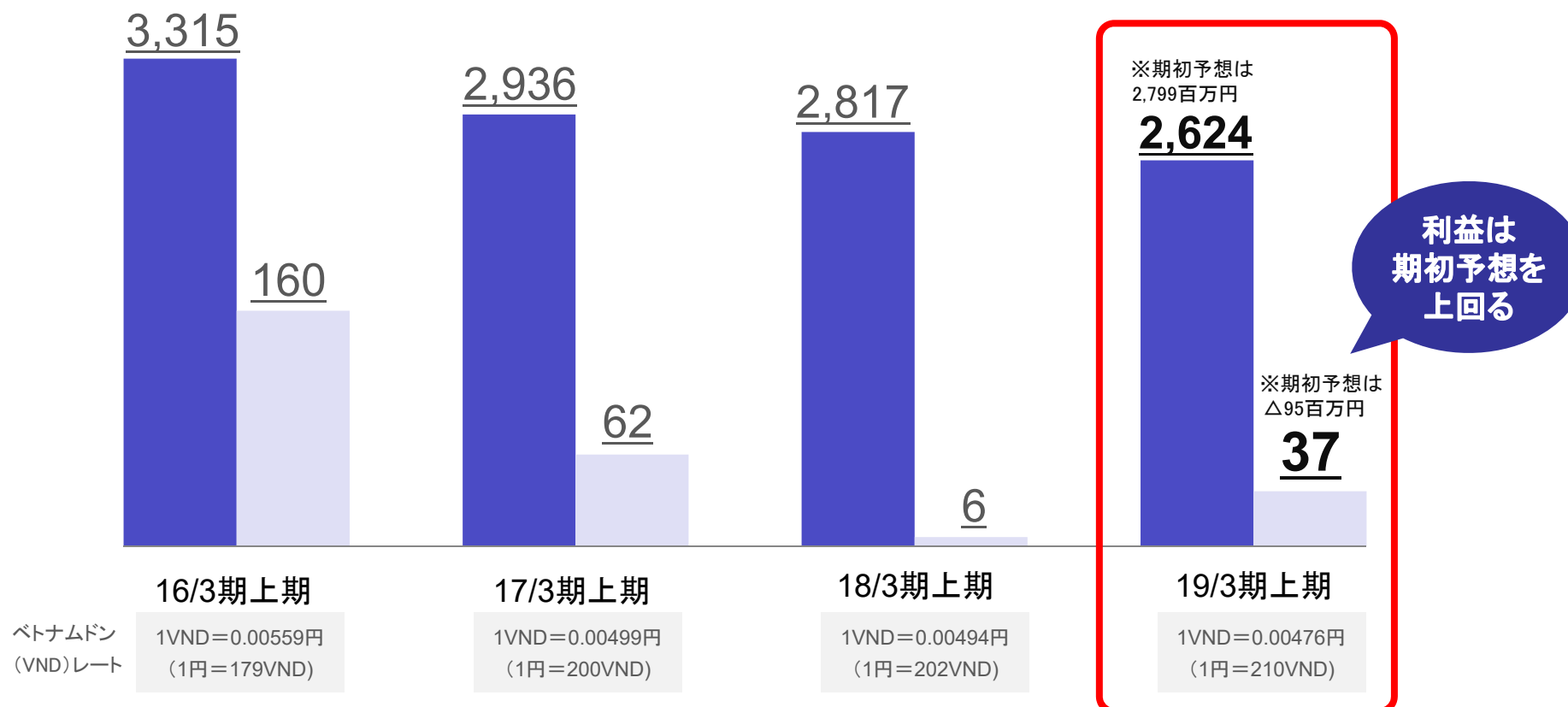
利益は期初予想および前年同期を上回る

ベトナムグループ業績

※ベトナムグループ8社の連結数値（ベトナムグループ間取引調整後）

（単位：百万円）

■ 営業収益 ■ 営業利益



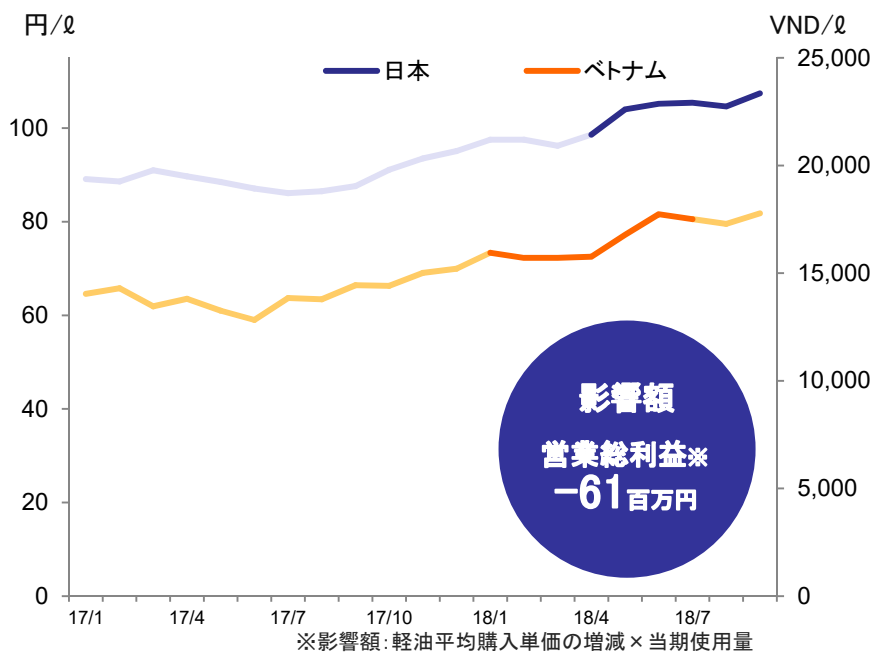


燃料価格、為替の変動による影響額

燃料価格は高騰、為替はベトナム円高、タイ円安で推移

燃料価格の推移

軽油の平均購入単価

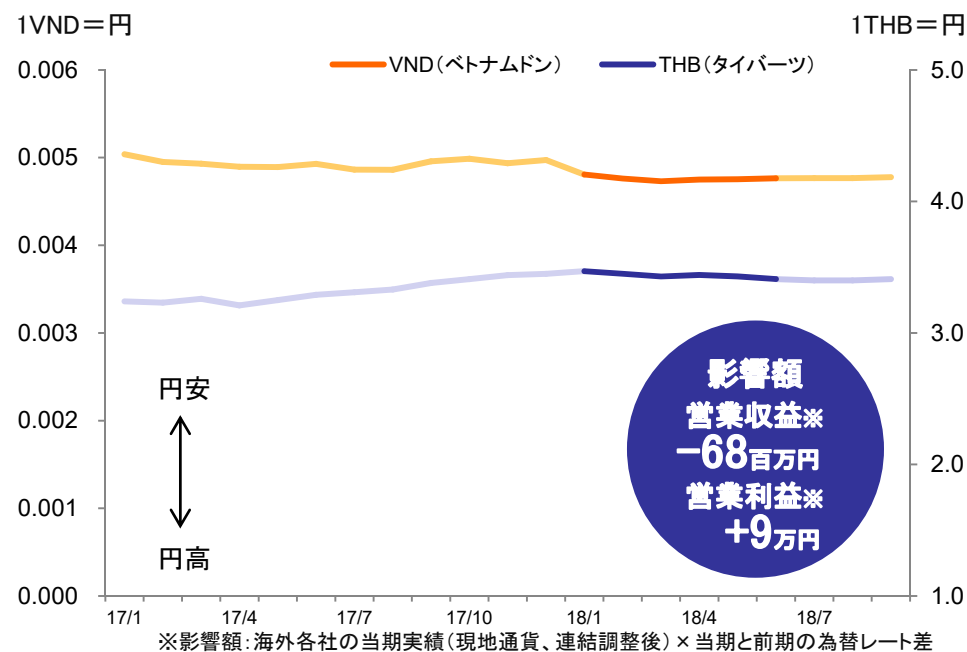


平均購入単価および使用量(主要地域別)

	18/3期上期	19/3期上期	増減
日本 平均単価(使用量)	84.4円 (2.1百万ℓ)	102.0円 (2.0百万ℓ)	+17.6円
ベトナム 平均単価(使用量)	13,211VND (2.2百万ℓ)	15,541VND (1.9百万ℓ)	+2,330VND

為替レートの推移

各月末時点の為替レート



平均為替レート比較(主要為替相場)

	18/3期上期	19/3期上期	増減
ベトナムドン(VND) 為替レート(TTM)	1VND =0.00494円	1VND =0.00476円	-0.00018円
タイバーツ(THB) 為替レート(TTM)	1THB =3.25円	1THB =3.41円	+0.16円

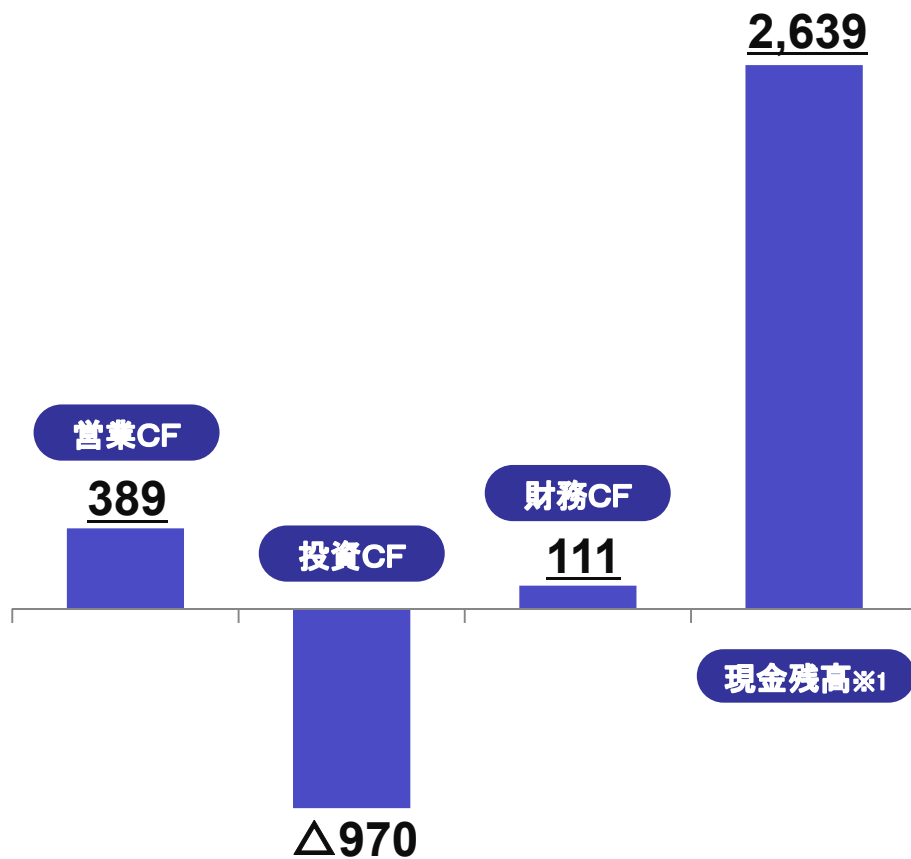


キャッシュ・フロー

新就業管理システムなど無形固定資産を取得

19/3期上期キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



主なキャッシュの増減要因

営業CF 「減価償却費」の増加

投資CF 「有形固定資産の取得」による支出
「無形固定資産の取得」による支出

財務CF 「長期借入による」による収入

(参考)キャッシュ・フロー比較

	18/3期上期	19/3期上期	増減
営業CF	731	389	-341
投資CF	$\Delta 1,033$	$\Delta 970$	62
財務CF	$\Delta 413$	111	525
換算差額※2	$\Delta 30$	$\Delta 56$	-25
現金残高※1	1,986	2,639	652

※1 現金及び現金同等物の期末残高

※2 現金及び現金同等物に係る換算差額



設備投資の状況

国内拠点、事業用車両への設備投資を実施

設備投資の推移

※各社設備投資状況(有形固定資産、グループ間取引含む)

(単位:百万円)

	17/3期	18/3期	19/3期		主な内容
			通期計画	上期実績	
建物・構築物	417	273	298	57	国内拠点電源設備、空調設備等
機械装置・運搬具	287	356	950	232	事業用車両、荷役マテハン機器等
工具・器具・備品	24	229	94	20	センター作業向け器具(タイ)等
リース資産	304	437	419	280	事業用車両リース
建設仮勘定	△74	14	0	△0.9	
合計	959	1,311	1,763	589	
※()は地域別計 上段:日本、下段:海外	(559) (400)	(1,090) (221)	(1,267) (495)	(479) (110)	



内容

1. 2019年3月期 第2四半期決算の実績
2. 2019年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み



2018年3月期 通期の見通し

期初予想(2018年5月14日公表)を据え置き

(単位:百万円)

	18/3期 実績	19/3期 予想 (5月14日公表値)	増減額	増減率
営業収益	45,609	49,000	+3,390	+7.4%
営業利益 (同利益率)	180 (0.4%)	200 (0.4%)	+19	+10.8%
経常利益 (同利益率)	166 (0.4%)	120 (0.2%)	-46	-27.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (同利益率)	192 (0.4%)	50 (0.1%)	-142	-74.1%
1株あたり当期純利益	140.96円	36.54円	—	—
配当金	80円	80円	—	—

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

1株あたり当期純利益および配当金は、2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。



営業収益の見通し(事業の種類別)

センター事業、アセット事業の売上が伸長する見通し

(単位:百万円)

	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 期初予想	増減率	セグメント別の見通し
貨物自動車 運送事業	20,417	21,075	22,000	+4.4%	・通販および食品関連の輸送量が増加 (日本ロジテム)
センター事業	8,107	8,578	10,000	+16.6%	・新規得意先の取扱いが拡大 (日本ロジテム) (ロジテムタイランド)
アセット事業	8,659	9,733	10,500	+7.9%	・前連結会計年度の期中に取引を開始 した得意先の保管面積が拡大、新規誘 致の進捗 (日本ロジテム)
その他事業	6,201	6,221	6,500	+4.5%	・輸出入取扱の増加 (ベトナム) (ロジテムタイランド)
営業収益計	43,387	45,609	49,000	+7.4%	



営業収益の見通し(所在地別)

国内は増収、海外は前期並みとなる見通し

(単位:百万円)

	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 期初予想	増減率	所在地別の 増減予想
日 本	35,520	37,710	40,500	+7.4%	日本ロジテム +23.7億円
(構成比)	81.9%	82.7%	82.6%		国内子会社 +4.2億円
海 外	7,867	7,899	8,500	+7.6%	ベトナムグループ +2.8億円
(構成比)	18.1%	17.3%	17.4%		ほか海外子会社 +3.2億円
営業収益計	43,387	45,609	49,000	+7.4%	
主要為替レート(TTM) VND(ベトナムドン)	1VND=0.00487円 (1円=205VND)	1VND=0.00493円 (1円=203VND)	1VND=0.00493円 (1円=203VND)	—	



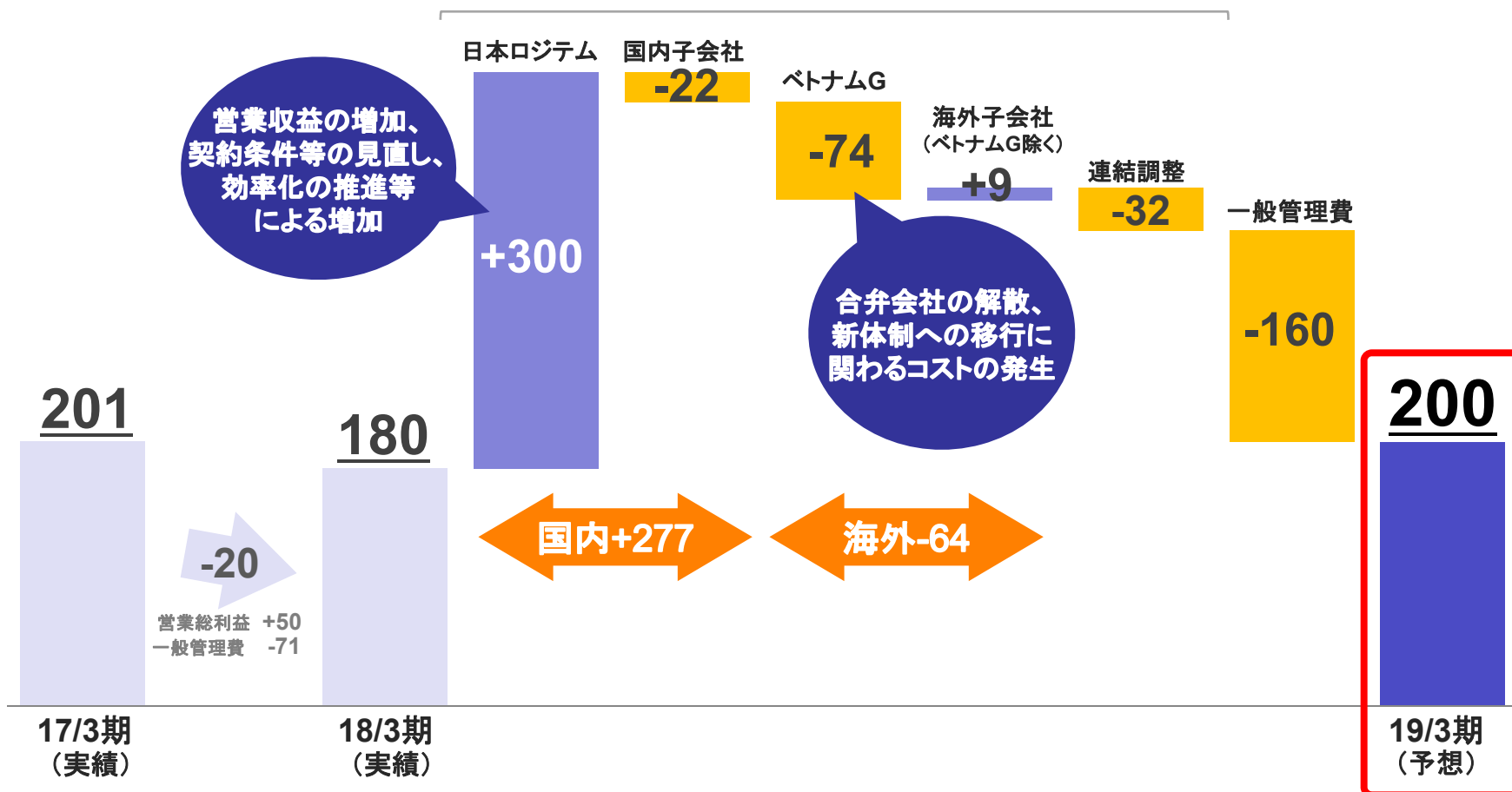
営業利益の見通し

日本ロジテムで改善を見込む、ベトナムは減益の見通し

営業利益

営業総利益 +180

(単位: 百万円)



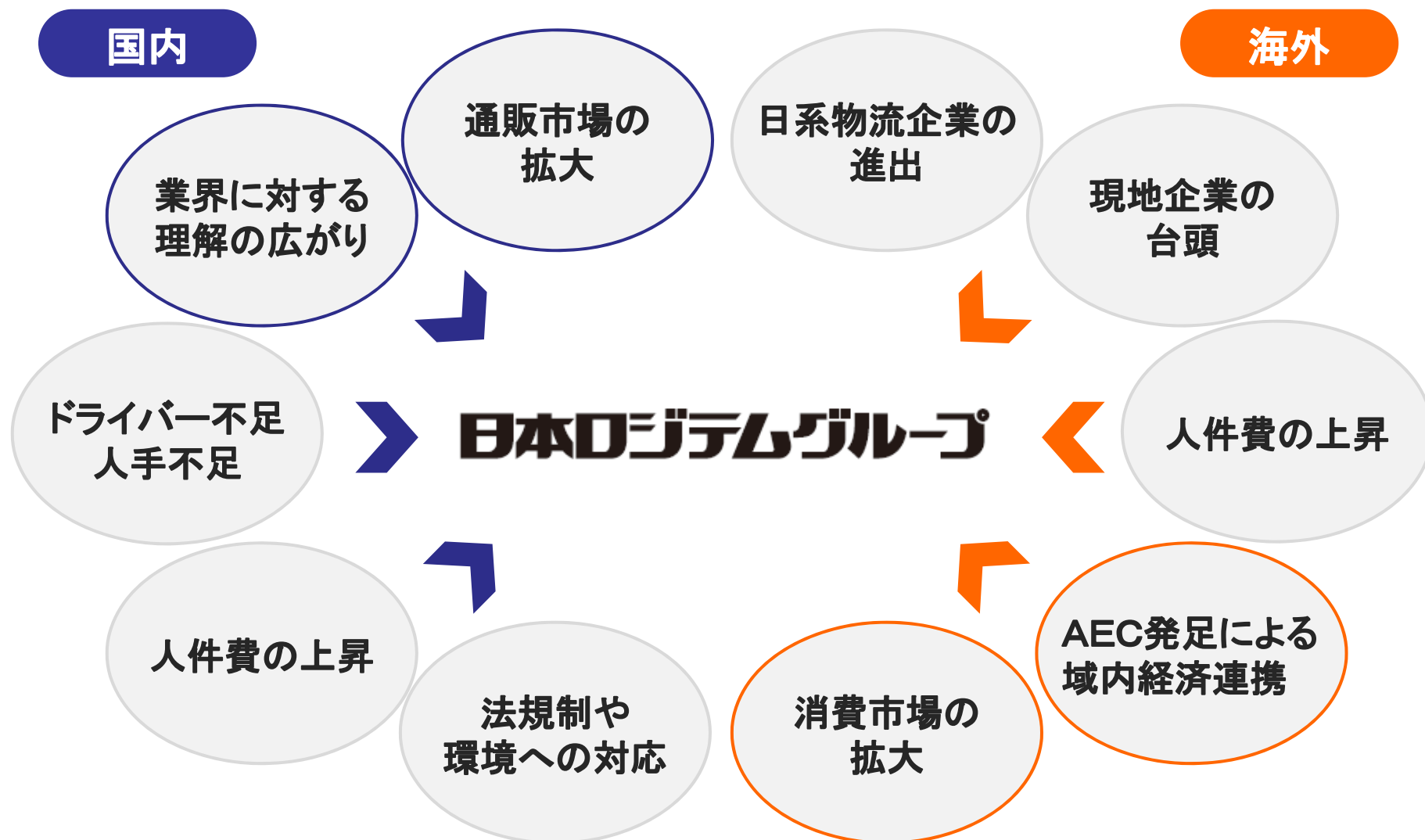


内容

1. 2019年3月期 第2四半期決算の実績
2. 2019年3月期 通期の見通し
3. 今後の取り組み



当社グループを取り巻く事業環境





中期経営計画2019

基本戦略の実行により成長を図る

■基本戦略

1. 輸送力の強化

貨物自動車運送事業のサービス力および収益力を改めて強化し当社の強みとする。

2. 成長市場へのシフト

今後の伸びが期待できる分野(業種、サービス)にスピードと柔軟性を持って取り組み、新たな収益の柱を確立する。

3. 国際物流の強化

国内企業や海外の日系・現地企業に対しグループ間連携による包括的な国際物流サービスをコーディネートし提案できる体制を構築する。



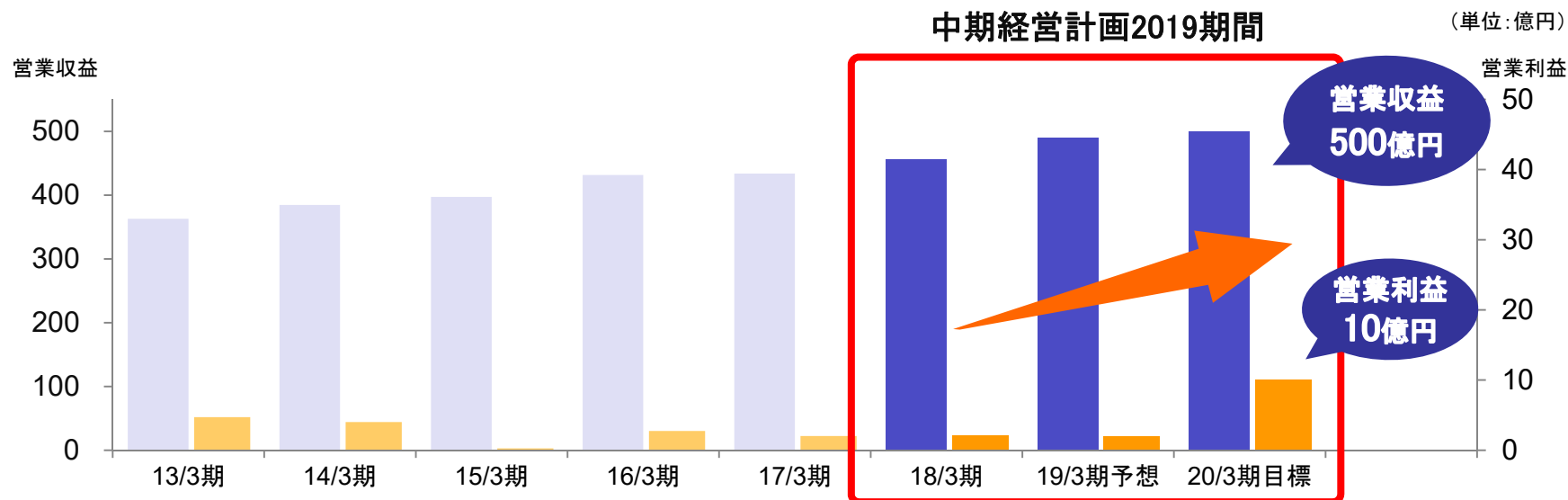
中期経営計画2019 業績目標

効率化、合理化、料金交渉等を進め、利益改善を目指す

■ 中期経営計画 最終年度(2019年度)目標

営業収益(連結) 500億円

営業利益(連結) 10億円 (利益率2%)





国内の重点施策

国内

3PL事業の拡大

- ・貨物自動車運送事業のサービス力、収益力の向上
- ・通販や小売関連など成長が見込まれる分野の事業拡大
- ・事業の選択と集中の実行による成長市場へのシフト
- ・グループ連携によるグローバルな営業開発の推進
- ・市場ニーズに応じた営業資産（自社車両、倉庫）の増強
- ・環境変化に適応する労働環境の整備



輸送力の強化

輸送の効率化、適正な料金収受に向けた取り組みを推進

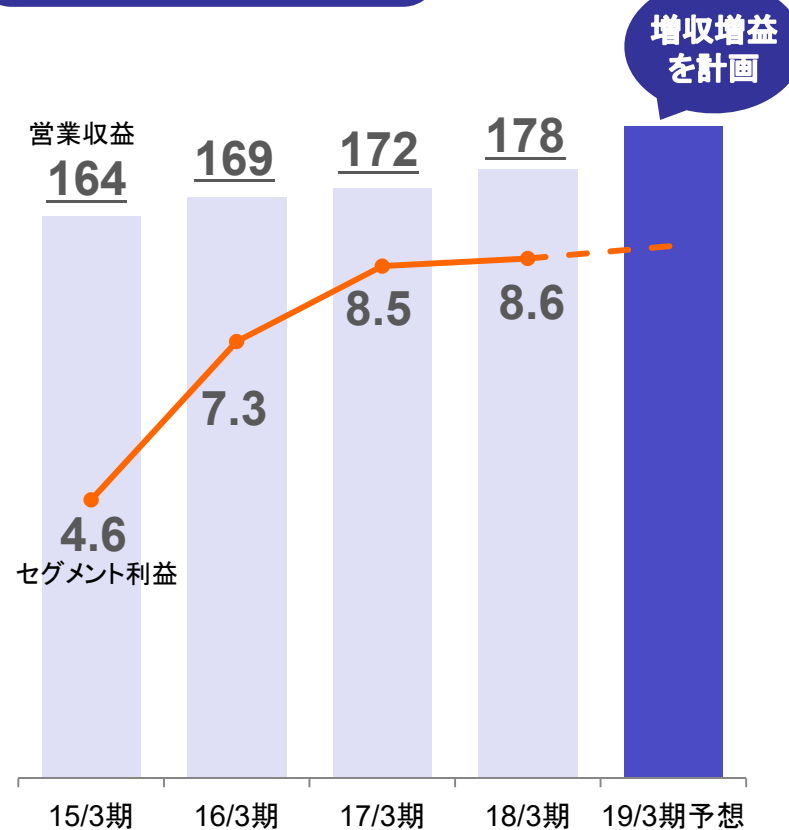
輸送力強化に向けた施策

- ・ニーズに応じ自社車両を増強
- ・多様な輸配送ニーズに応える輸送力の構築
- ・グループ間、拠点間連携による配送効率の向上
- ・自車および協力車の適正配置
- ・輸配送の安全運転レベルの向上



国内運送事業の業績推移

(単位: 億円)



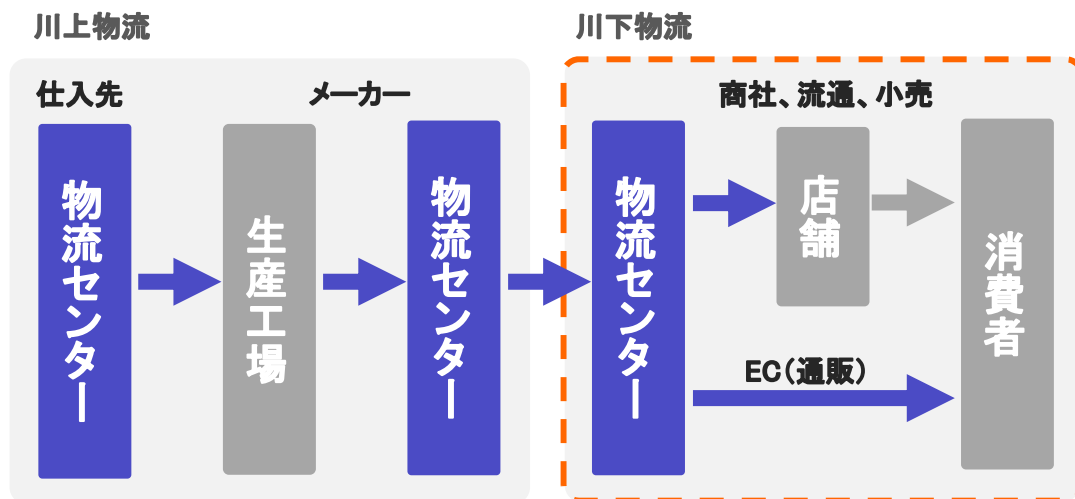
※当社および国内連結子会社のセグメント業績



成長市場への取り組み

通販関連をはじめ、成長市場の物流取り扱い拡大を図る

サプライチェーン概略図



基本方針

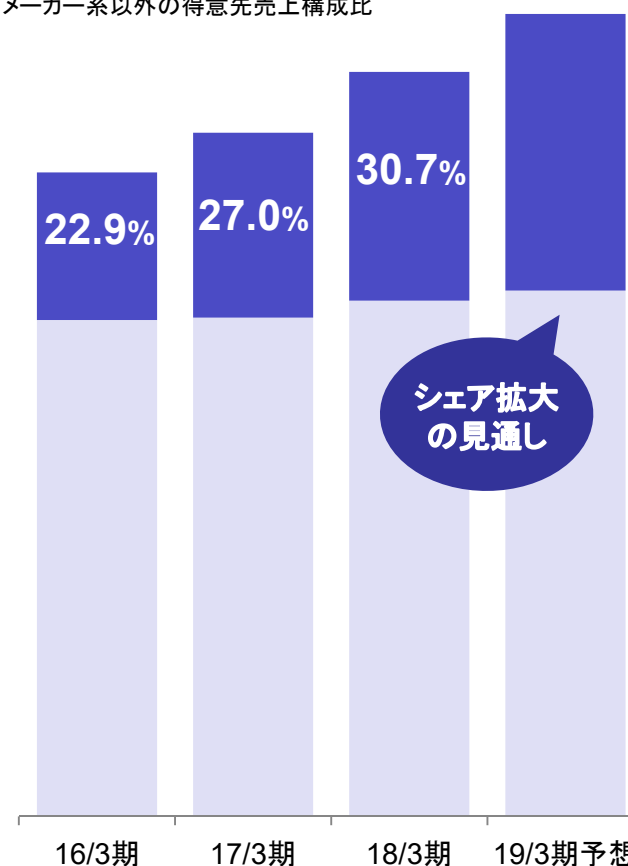
メーカー物流を基盤としながら、成長が見込める分野の物流取り扱い拡大により、新たな収益基盤の確立を図る

▶ ニーズが旺盛な通販物流の取扱い拡大を推進

売上構成比の推移

※当社の売上上位50社に占める
メーカー系以外の得意先売上構成比

■ その他の得意先
■ メーカー系の得意先

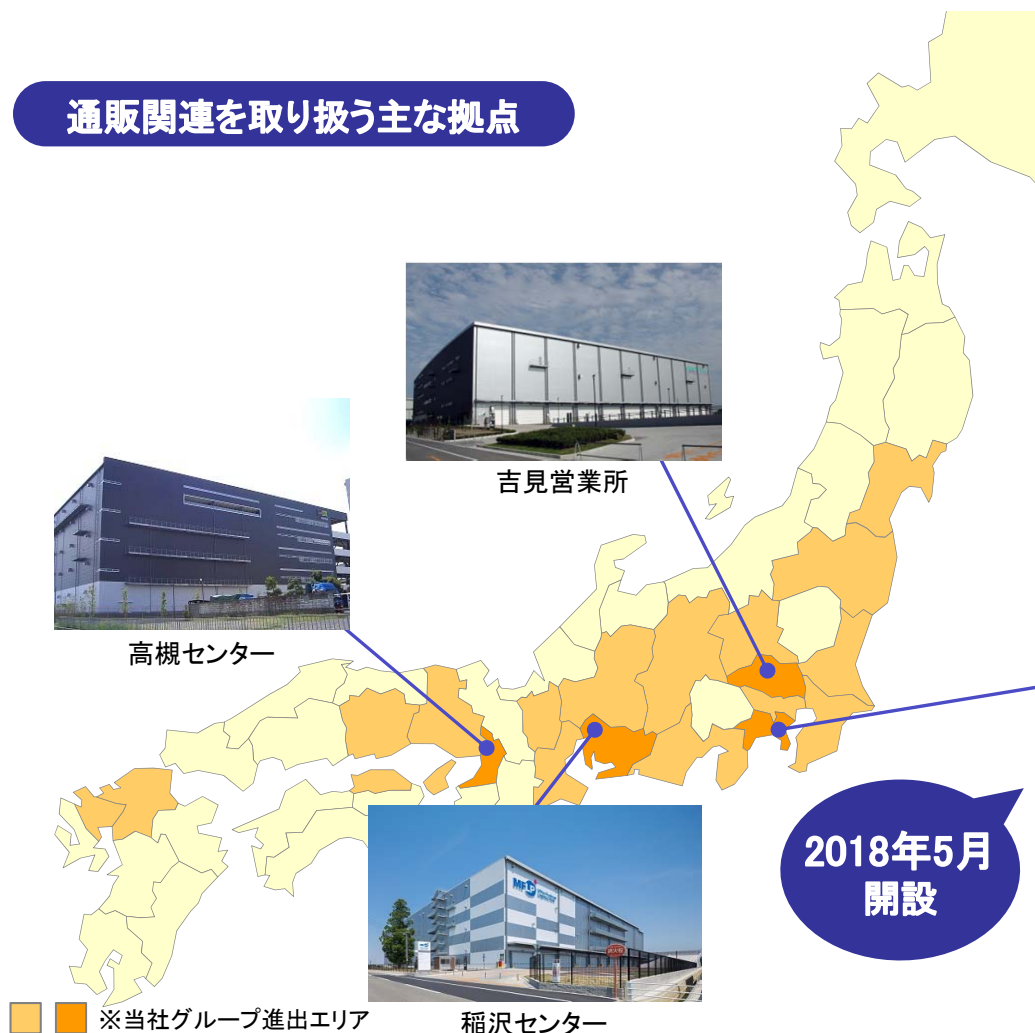




通販物流の拡大

得意先ニーズに応じ拠点を拡充、取り扱い品目も増加へ

通販関連を取り扱う主な拠点



厚木西センター

所在地	神奈川県伊勢原市石田
アクセス	東名道「厚木IC」約2.9km 小田急小田原線「愛甲石田駅」徒歩約11分
敷地面積	約7,773坪
延床面積	約14,747坪(うち、賃借面積約11,207坪)
構造	地上4階建



国際物流の強化

グループ一体となり、グローバルな物流案件の開拓に注力

海外現地法人
(ベトナム、タイ他)

各国内での物流事業

ロジテム
インターナショナル

輸出入通関事業

日本ロジテム
グローバル事業
部門

グローバル営業開発
海外事業の管理



大田センター

施策

- ・営業戦略部門と国際事業部門を統合し、国際物流案件の開拓に注力
- ・国際物流ニーズに幅広く対応できる拠点を新設し、営業体制を強化



海外の重点施策

海外

アジア地域の事業展開を加速

- ・インドシナ半島域内の国際陸上輸送網拡充によるクロスボーダー輸送の拡大
- ・グループ連携によるグローバルな営業開発の推進
- ・ベトナムでの円滑な組織再編と事業の拡大
- ・成長市場へのシフトを見据えた新規事業の検討
- ・各進出国における管理体制の強化
- ・グループ間の交流による人財育成の強化



インドシナ半島地域における成長戦略

単一市場化を目指すAEC(ASEAN経済共同体)が発足

ASEAN物品貿易協定(ATIGA)関税引き下げスケジュール

		2010年	2012年	2013年	2015年	2018年
ASEAN 原加盟6ヶ国	タイ	・全品目を0%へ(SL、HSLを除く) ・SLの関税率を5%以下に引き下げ			完全撤廃	完全撤廃(全加盟国)
	シンガポール					
	マレーシア					
	インドネシア					
	フィリピン					
	ブルネイ					
ASEAN 新加盟4ヶ国	ベトナム	・80%の品目について 関税撤廃(SL、HSLを除く)	・優先統合品目 の関税撤廃	・SLの関税率を 0～5%	・関税撤廃 (SL、HSLを除く)	
	ラオス	・60%の品目について関税 撤廃(SL、HSLを除く) ・CEPT適用品目について は0～5%	・80%の品目について 関税撤廃(SL、HSLを除く) ・優先統合品目の関税撤廃		・関税撤廃 (SL、HSLを除く) ・SLの関税率を 0～5%	
	ミャンマー		・優先統合品目の関税撤廃		・関税撤廃 (SL、HSLを除く)	
	カンボジア		・優先統合品目の関税撤廃			

※SL: センシティブリスト、HSL: 高度センシティブリスト、CEPT: 共通特惠関税



インドシナ半島地域における成長戦略

道路インフラの整備が進み、域内のアクセスが向上

ASEAN経済回廊



進出状況

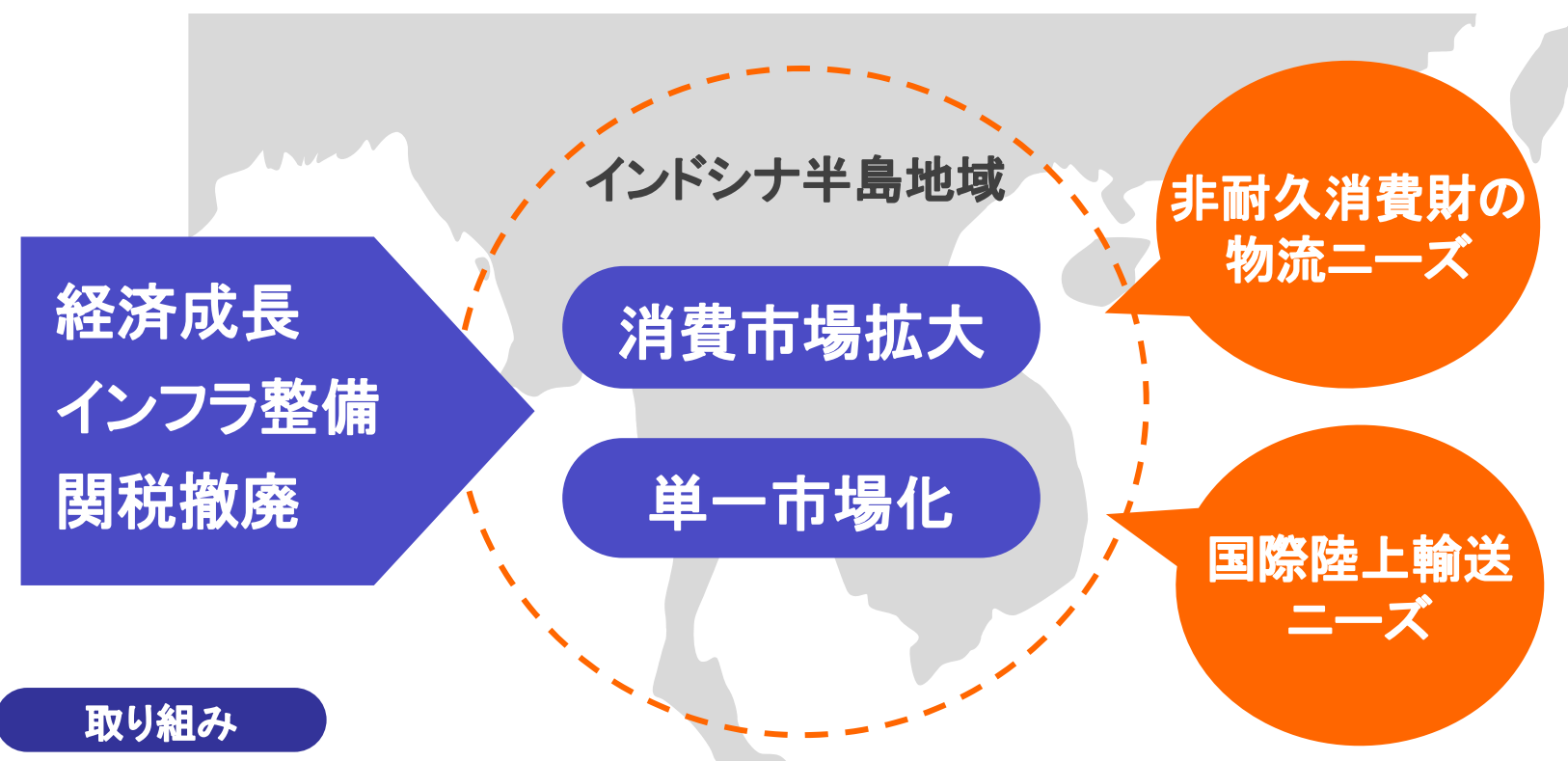
進出国	2000年	2010年	2015年
タイ 	1992年 		
ベトナム 	1994年 		
ラオス 		2007年 	
ミャンマー 			2013年 
カンボジア 			2016年 

インドシナ半島地域
5ヶ国に進出し
事業を展開



インドシナ半島地域における成長戦略

域内国際陸上輸送を成長市場と捉え事業展開を加速



取り組み

- ・各国内において強固な事業基盤を構築し、自国内の物流機能を充実
- ・グループ連携を強化し、域内輸送ネットワークの整備を推進
- ・市場の拡大が見込まれるクロスボーダー輸送の需要を開拓



ベトナム、旅客・物流事業の組織再編

新たな組織体制による事業の安定化に注力

ロジテムベトナムグループ

グループ統括、リース、投融資

ロジテムベトナム ホールディングス

□ 再編後の体制
● 議決権所有割合
無印は100%
※ 持分法適用関連会社

旅客運送事業

ロジテムベトナム NO.1 ●65%
・2018年3月末に事業終了

▶ ロジテムベトナム ノース
サービス

▶ ロジテムベトナム サウス
サービス

物流事業

ロジテムベトナム NO.2 ●65%
・2018年6月末に事業終了

▶ ロジテムベトナム コープ

CLK コールドストレージ※ ●26%

小売・卸売事業

ロジテムベトナム トレー
ディング

L&K トレーディング



ベトナムグループの重点施策

事業基盤を一層強化し、海外の事業展開を牽引

事業別の施策

旅客運送事業

- ・新体制による新規契約の推進と安定利益の追求
- ・人材育成、管理体制強化による高品質なサービスの提供
- ・新たなサービスによるハイヤー稼働率の向上



物流事業

- ・冷凍冷蔵品を含む食品物流の拡大
- ・拠点の拡充による輸送網の整備
- ・3PL事業の拡大



卸売・小売事業

- ・冷凍品を中心とした輸入販売の拡大
- ・店舗運営の再構築による収益性の改善
- ・物流事業との連携強化





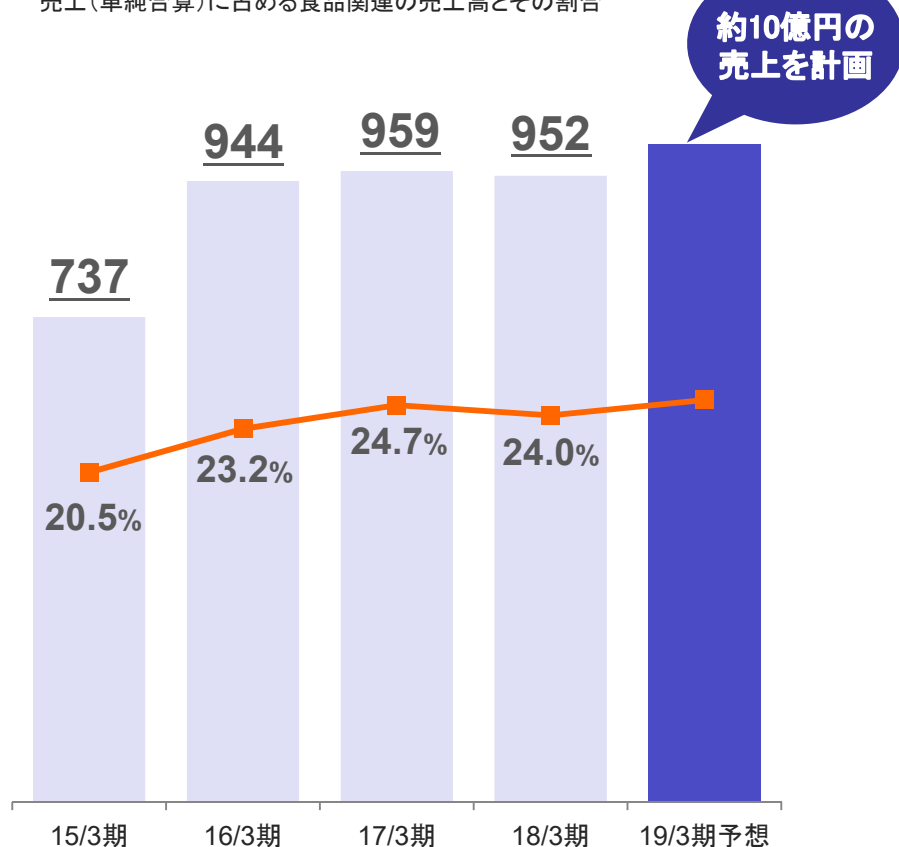
ベトナム、食品物流の拡大

物流サービスを拡充し、食品物流は堅調に推移

営業収益(食品物流)

(単位:百万円)

※LOGITEM VIETNAM CORPとLOGITEM VIETNAM NO.2の
売上(単純合算)に占める食品関連の売上高とその割合



業務内容(食品物流)

物流業務

- ・配送センター内での入出庫、保管、在庫管理
- ・クロスドック輸送、工場間輸送、エリア配送、店舗配送
- ・冷凍冷蔵倉庫運営



物流関連業務

- ・工場構内業務請負(24時間体制)
- ・輸出通関代行
- ・食品卸売

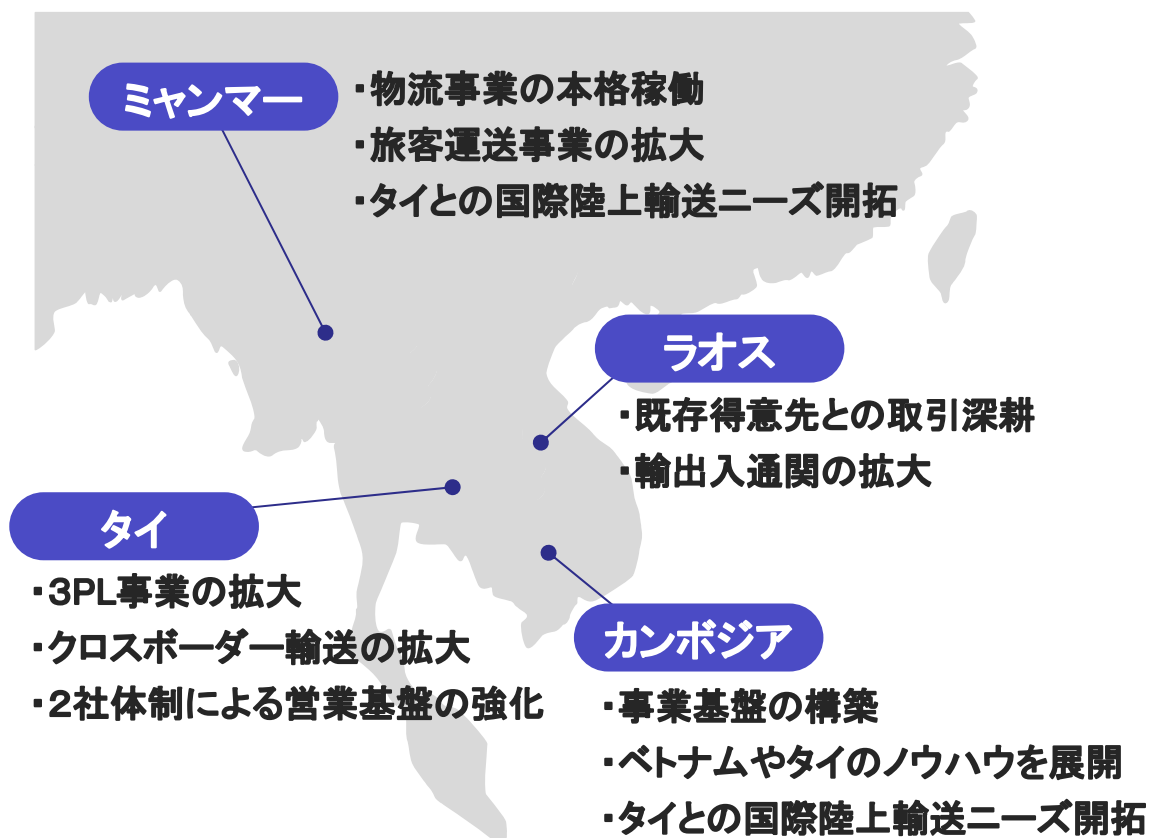




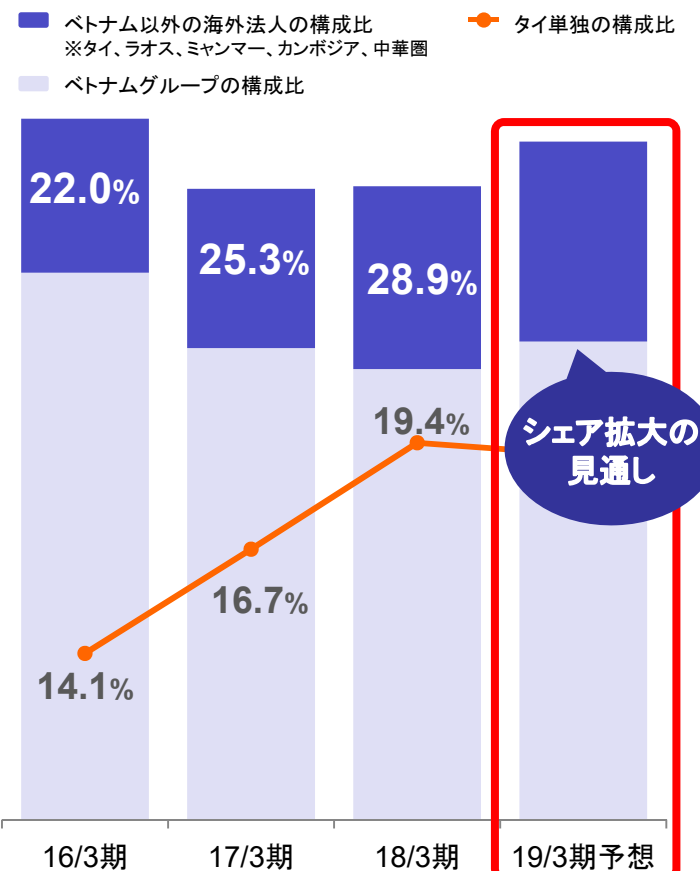
インドシナ半島地域各社の重点施策

各社とも堅調に売上を伸ばし、海外事業におけるシェアが拡大

重点施策



海外所在地別の売上構成比



※ 海外所在地別の売上構成比(グループ間取引調整後)



資本政策について(配当)

基本方針

安定配当の継続

株主の皆様に対する安定した配当の継続を経営の最重要課題の一つとして位置付けており、業績の進展状況や配当性向等を勘案し、利益配分に積極的に取り組んでいく方針です。

<1株あたり年間配当額の推移>

	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期 (予想)
第2四半期末	4.00円	4.00円	4.00円	4.00円	4.00円	40.00円
期末	4.00円	4.00円	4.00円	4.00円	40.00円	40.00円
年間	8.00円	8.00円	8.00円	8.00円	—	80.00円
配当性向(連結)	137.5%	—	241.2%	23.6%	56.8%	218.9%

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、2018年3月期の年間配当金合計は「—」と記載しております。



日本一信頼される企業グループを目指す

保管、荷役、流通加工、情報システム、3PLへと進化するロジスティクス業界





【参考資料】 当社グループの概要①

日本ロジテムグループ体制

(2018年10月1日時点)

日本ロジテム (貨物運送、倉庫、グループ統括)(関東・中部・南東北)

日本

サービス別

ロジテムエージェンシー

(業務請負、人材派遣)

ロジテムエンジニアリング

(施工、建設)

ロジテムインターナショナル

(通関、港湾運送)

ロジスメイト ※

(物流コンサルタント)

運送品目別

ロジテムトランスポート

(バルク運送)

ロジテム軽貨便

(軽貨物運送)

地域別

阪神ロジテム

(貨物運送、倉庫)(近畿・中国・四国)

阪神ロジサポート

(業務請負、軽貨物運送)(近畿)

福岡ロジテム ※

(貨物運送、倉庫)(九州)

海外

ベトナム

LOGITEM VIETNAM HOLDING

(ベトナムグループ統括、リース、投融資)

LOGITEM VIETNAM CORP.

(貨物運送、倉庫)

LOGITEM VIETNAM NORTH

(旅客運送)(ハノイ市)

LOGITEM VIETNAM SOUTH

(旅客運送)(ホーチミン市)

LOGITEM VIETNAM TRADING

(貿易代行、卸売)

L&K TRADING

(物品販売)

CLK COLD STORAGE ※

(冷凍冷蔵倉庫)

タイ

LOGITEM (THAILAND)

(貨物運送、倉庫、通関)

LOGITEM TRADING (THAILAND)

(卸売、業務請負)

ほかインドシナ半島地域

LOGITEM LAOS GLKP

(通関、倉庫、貨物運送)(ラオス)

LOGITEM MYANMAR

(旅客運送、貨物運送、通関)(ミャンマー)

LOGITEM (CAMBODIA)

(旅客運送、貨物運送)(カンボジア)

中華圏

LOGITEM HONG KONG

(通関、倉庫、貨物運送)(香港)

千日股份

(倉庫、貨物運送、貿易代行)(台湾)

洛基泰姆(上海)物流

(通関、倉庫、貨物運送)(上海)

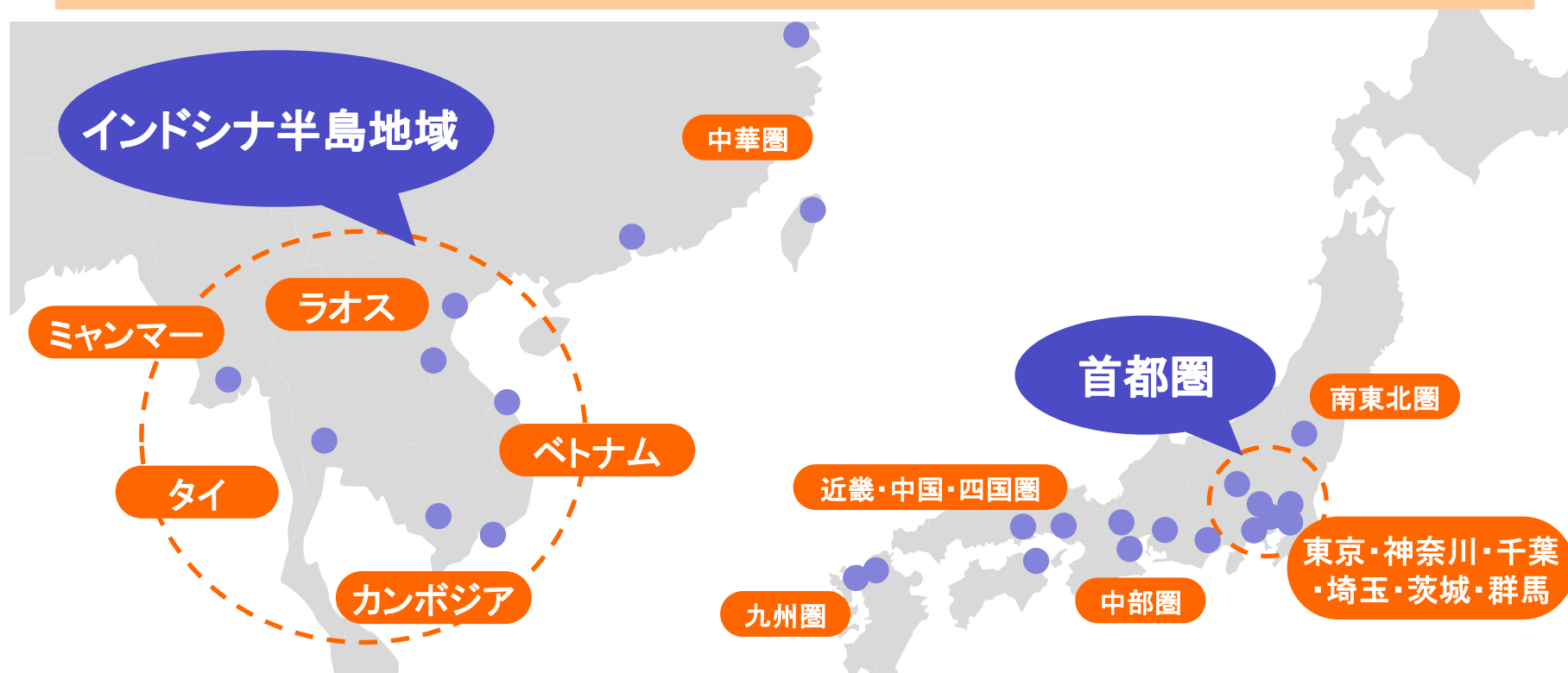
() 主な事業・エリア等 ※持分法適用関連会社



【参考資料】 当社グループの概要②

特徴、強み（エリア展開）

首都圏およびインドシナ半島地域を中心に展開



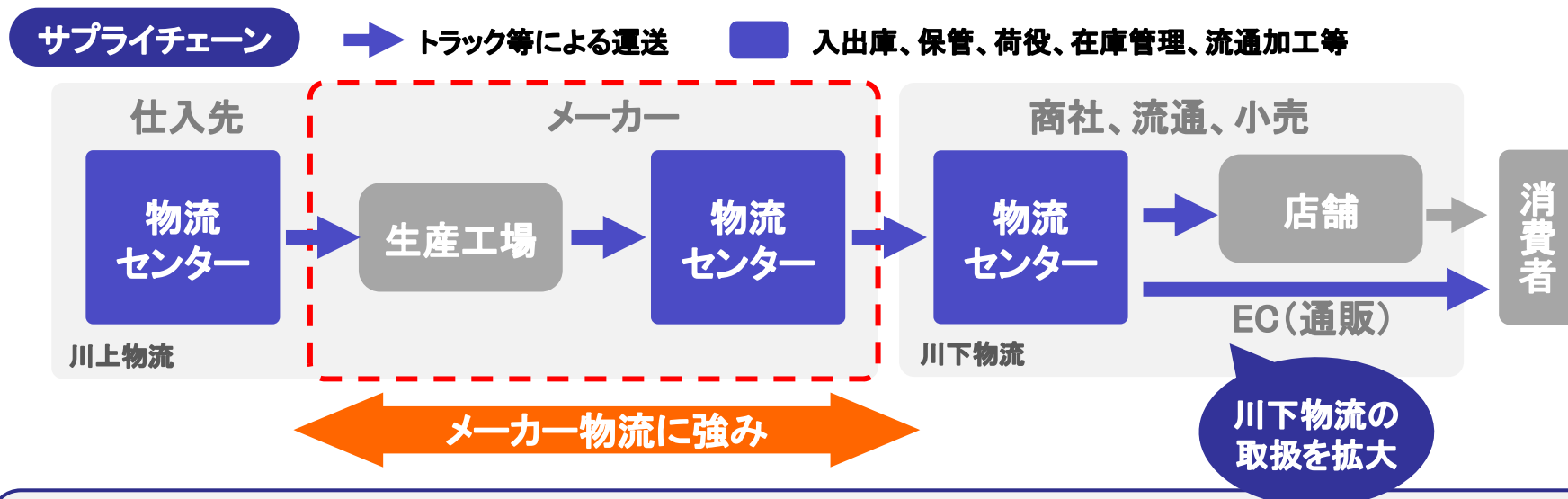
- ・国内最大の消費地である首都圏を中心に拠点を拡充
- ・物流ニーズに応じた拠点展開を図り、南東北から九州エリアをカバー
- ・いち早く進出したベトナムをはじめインドシナ半島地域に特化したエリア展開



【参考資料】 当社グループの概要③

特徴、強み（物流サービス）

メーカー物流を基盤としながら、幅広いサービスを提供



- ・メーカー物流を主体に3PL(トラック運送、倉庫、流通加工など)サービスを提供
- ・食品、インテリアなど衣食住商品メーカー関連の物流ノウハウ
- ・様々なニーズに対応可能なマルチテナント型の倉庫を拡大
- ・工場内作業請負、施工、販売、引越など物流周辺事業を充実
- ・ベトナムにおける事業範囲の広さ(物流、旅客自動車運送、卸売小売など)



【参考資料】 当社グループの概要④

セグメント別構成比

事業の種類別セグメント

貨物自動車運送事業

トラックなどを使用して貨物を運送する事業

センター事業

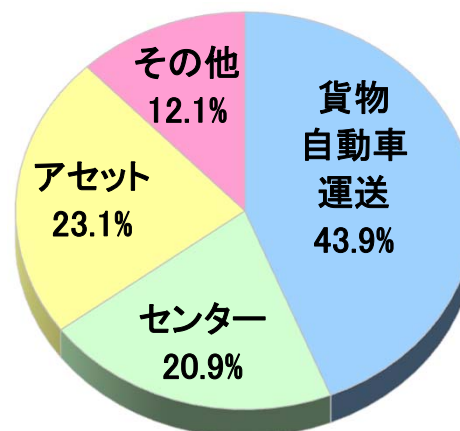
貨物の入出庫などの荷役、流通加工、事務代行を行う事業

アセット事業

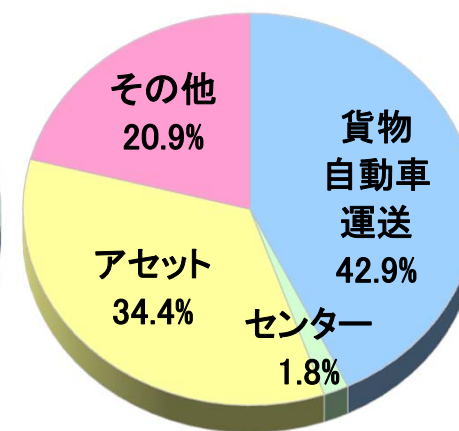
貨物の保管、不動産賃貸借および仲介を行う事業

その他事業

引越事業、施工関連事業輸出入通関事業、旅客自動車運送事業などの物流周辺事業



連結売上高



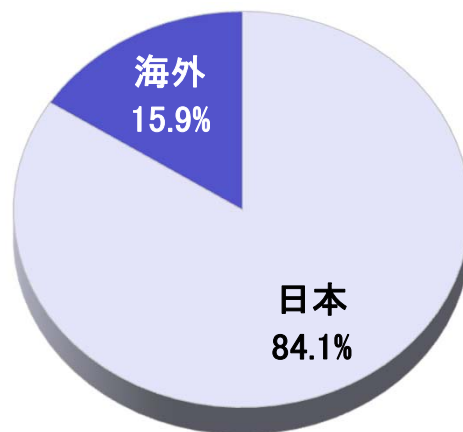
セグメント利益

所在地別セグメント

日本

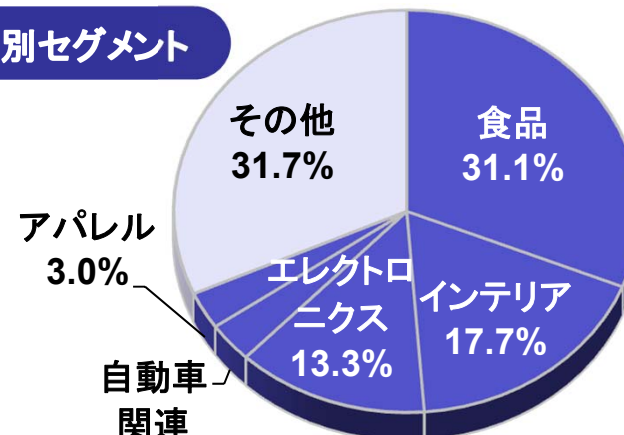
海外

ベトナム、中華圏、タイ、ラオス、ミャンマー、カンボジア



連結売上高

品目別セグメント



連結売上高

(19年3月期第2四半期データ)



【参考資料】 当社グループの概要⑤

従業員数、輸送能力、保管能力



	国内	海外	計
従業員数	1,336人	2,393人	3,729人
輸送能力	貨物自動車 374両 旅客自動車 —	587両	961両
		584両	584両
保管能力	217,966坪	69,660坪	287,626坪

(19年3月期第2四半期データ)



- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な 情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。



IRに関するお問合せ先

日本ロジテム株式会社 総合企画部 総合企画課

東京都港区新橋5-11-3

TEL: 03-3433-6711

物流センター・物流アウトソーシングなら

物流相談.com

<http://www.b-soudan.com>